

●本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
<p>全学年、毎時の授業に有酸素運動を取り入れたことにより、前年度に比べ全身持久力を向上させることのできた生徒が増えた。運動部に所属していない生徒の全身持久力に向上が見られる。</p>	<p>全国水準と比べ、筋パワーの発揮に改善の余地がある。また、持っている技能を実践の様々な場面で活用するための思考力、判断力、表現力に改善の余地がある。</p>

●学年ごとの課題及び改善策等

学年	生徒の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	<p>まだまだ全身持久力の低い生徒が多く見られる。また、柔軟性や調整力も改善の余地があるため、怪我も多いのが課題である。</p>	<p>・持久力向上に重点を置き、毎時間にランニングを取り入れ、定期的に1500m走、1000m走、シャトルランテストの測定を行い、成果を確認する。成果が見られない場合、それぞれの授業で持久力を高める運動を適宜に取り入れる。</p>
2年生	<p>昨年度から全身持久力の向上は見られるが、投力が全体的に低い傾向が見られる。筋力向上が課題であると感じる。</p>	<p>・毎時間の最初に、力強い動きのできる体力を高めるため、個々の発達段階に応じた筋力トレーニングを取り入れる。</p>
3年生	<p>筋肉の発達に伴い、柔軟性と巧緻性に乏しい生徒が見られる。動きは力強いが、怪我の恐れもあるため、柔軟性向上を目指した取り組みが必要であると感じる。</p>	<p>・骨格や筋肉の発達に合わせて柔軟性や巧緻性が高められるよう、毎時間の中に柔軟運動や巧みな動きを高める運動を取り入れる。</p>

●学校全体で取り組む内容

<p>全学年、全国水準と比べ、筋パワーの発揮に改善の余地があるのと、持っている技能を実践の様々な場面で活用するための思考力、判断力、表現力に改善の余地があるので、技能の習得だけでなく、ゲーム(試合形式)の中での活用を常に意識させていく。また、引き続き筋力トレーニングの充実と、ねらいを持ったゲーム形式の活動に取り組んでいく。</p>
--